

## 4 交渉経緯

### 4 - 1 相手側実行組織

今回の協議中、相手側実行組織での名称の変更が申し出され、協議ならびに東京への問い合わせを行い以下のように決まった。

変更前	変更後
Project Director	Head of Executing Agency
Project Manager	Project Director

### 4 - 2 合同委員会

メンバーの一部変更の申し出があり、協議の結果以下のように決まった。

#### 変更前

- ・ Chairperson: Deputy Permanent Secretary, Ministry of Agriculture and Forestry
- ・ Project Director: Director General, Department of Livestock and Fisheries
- ・ Project Manager: Deputy Chief of the Livestock and Fisheries Division
- ・ Representative of the Committee for Investment and Cooperation  
:Office of International Cooperation

#### 変更後

- ・ Head of Executing Agency: Director General, Department of Livestock and Fisheries, Ministry of Agriculture and Forestry
- ・ Project Director: Former Deputy Chief of the Livestock and Fisheries Division
- ・ Representative of the Office of International Cooperation, Committee for Investment and Cooperation, Prime Minister's Office  
(上記の変更に伴い、R/D 文章中の表記を変更した)

### 4 - 3 ノンテンとナムスワンについて

ナムスワンの施設が完成するまでノンテンで活動を行い、ナムスワン完成後はナムスワンだけの活動になることが確認された。

#### 4 - 4 ナムスワン養殖センターの施設建設について

ラオス側が大使館へ草の根資金の申請をしているとのことであったが、確実性がないことから JICA 側から JICA の現地事業化活動費を使っての建設を説明した。また、これに伴い建設予定地での土地の確保と水の使用に必要な準備をラオス側に確認し了承された。

#### 4 - 5 カウンターパートについて

ラオス側より 10 名のカウンターパートの人選名簿が提出された。

内訳はナムスワンに 6 名、ノンテンに 4 名でプロジェクト開始当初のカウンターパートとしてプロジェクト開始前までの任命が約束された。また、必要なカウンターパートについては、海外留学に出ている者や新卒者のリクルートをすることが確認された。

#### 4 - 6 サポート職員について

プロジェクトに関わるサポート職員の確保が約束された。

#### 4 - 7 ヴィエンチャンでのプロジェクト事務所について

ナムスワンが完成するまでのヴィエンチャンでのプロジェクト事務所が確保されていることを確認した。(FAO/UNDP プロジェクト事務所と同じ建物内に予定)

#### 4 - 8 供与機材の免税について

プロジェクトの供与機材の免税処置の確認を行った。

#### 4 - 9 ラオス側からのプロジェクトの予算について

ラオス側からプロジェクトへ人件費を除き毎年 2,000 万 kip の予算を申請しており、足りない場合 80~100 万 kip をプロジェクトにまわすことを確認した。

#### 4 - 10 プロジェクト対象魚種について

ラオス側から対象魚種を 4 種から、4 種類に加えその他の魚種にするように申し出があった。協議の結果、プロジェクトの対象魚種は 4 種類(コイ、ティラピア、プンティウス、ナマズ)にすることで双方了承した。

#### **4 - 11 ナムスワンでの電話について**

既存の電話線がナムスワンから 20km 離れているところまでしか敷設されていないため、ナムスワンでの電話については携帯電話での対応にしたいとの申し出がラオス側からあった。協議の結果、携帯電話と無線を設置することを確認した。

#### **4 - 12 ナムスワンでの取水について**

収穫時にナムスワン灌漑水路の水が止まるため、関係省庁にいつでも水を使えるように折衝、再確認をラオス側に依頼し了承された。また、水の使用料を無料になるように交渉の再確認を依頼し了承された。

#### **4 - 13 ナムスワン周辺のヴィエトナム人貸し出しの池について**

ヴィエトナム人の契約が切れた後、プロジェクトでそれらの池を親魚養成池として使用できる再確認をして了承された。

#### **4 - 14 ナムスワン建設予定敷地内にある民間の電線について**

敷地内にある民間の電線は建設に伴い撤去し、撤去費用も出さないことが確認された。

#### **4 - 15 ナムスワン養殖センターの国立センターとしての位置付けについて**

ナムスワン養殖センターを畜水産局直属の国立センターとして位置付ける事を協議し、ラオス側は了承した。

今回の R/D 協議では、前回 2 月の短期調査時と比較してほとんど変更はなく、前回依頼していた事についても、今回の協議までに畜水産局側できちんに行われていた。

## 5 プロジェクト実施上の留意点

本協力を実施するにあたっては、以下の点に留意する必要がある。

### 5 - 1 実施体制

#### 5 - 1 - 1 ナムスワン養殖センターの位置付け

ナムスワン養殖センターを含めた組織に関する法令はまだ検討されておらず、現時点での組織の位置付けを確認することはできなかった。

このため、日本側は、ナムスワン養殖センターのプロジェクト終了後の持続性を確保するため、畜水産局直轄の全国を対象地域とする養殖センターとすることを要望した。

ラオス側は日本側の意向を了解し、ナムスワン養殖センターを畜水産局が直接所管する全国レベルの機関とし、地方レベルの養殖場の上位組織とすること、農民、農民組織、普及員、民間養殖業者等を対象とし、養殖技術の研究改良、技術研修、種苗生産等を行う組織としたいとの説明をした。

また、ラオス側はナムスワン養殖センターでは親魚養成はしないとの認識であったが、1) ノンテン養殖場から親魚を配送することが非効率であること、2) ノンテン養魚場は乾期の水の確保が困難であること、3) 将来的な運営資金確保にもつながること等を踏まえ、ナムスワン養殖センターにおいても親魚養成ができるよう検討すべきである。

組織に関しては、プロジェクトが開始され、ナムスワン養殖センターが設立される段階で具体的に正式に定めるとのことであり、今後、ナムスワン養殖センターの位置付けについて確認することが必要である。

#### 5 - 1 - 2 予算の確保

ラオス側では本プロジェクトに対する期待が高く、2001年2月のプロジェクト実施に向け既に予算確保の準備をしているとのことである(約20,000,000kip(事業費ベース:カウンターパート給与は除く)参考:1US\$=約7,940kip)。

ただし、2001年度予算額(案)からも明らかのように、LLDCであるラオスにとって、予算の確保は極めて難しい問題であり、本プロジェクトの実施についてもラオス側で最大限の予算確保に努力してもらおう一方、効率的かつ効果的なプロジェクト実施のためには、多くの面において日本側の財政的対応も必要であることが予想される。郡・県の普及員を対象とした研修に必要な旅費やナムスワン養殖センターにおける活動に必要な経費等日本側で対応可能な範囲で運営面についても支援するとともに、プロジェクト終了後の自立的な維持管理能力を高める観点から、養成された親魚の一部を販売する等将来的にナムスワン養殖センターが必要な運営費

を確保できる体制が整うよう検討しておく必要がある。

### 5 - 1 - 3 カウンターパートの配置

短期調査の際にも報告のあったとおり、一般に畜水産局職員や郡・県レベルの普及員等は基礎的な養殖技術を身につけておらず、まずは、カウンターパートに対する基礎的な技術の移転が重要な課題である。今回、当方から要望していたとおり、10名のカウンターパートのリストが明らかになった。

このうち、6名は水産課職員（うち女性2名）であり、4名がノンテン養魚場の職員である。ノンテン養魚場職員については、ナムスワン養殖センター設立後も引き続き、ノンテン養魚場が親魚養成の役割を担う機関として維持されることから、プロジェクト開始当初に基礎的な技術移転を行った後も、ナムスワン養殖センターには配置換えは行わないとのことである。また、今回示されたリスト以外にも新規採用者をカウンターパートとして配置する予定であるが、まだ、決定していない。

ラオス畜水産局の人材が不足している中で、10名のカウンターパートの配置を確認できたことはプロジェクトの実施にとっては有意義であるが、3年間という短いプロジェクトの実施期間内に効率的な技術協力を行うために、新規採用者を含め、将来的にナムスワン養殖センターの運営を担うカウンターパートの早期確保につき、引き続き確認していく必要がある。

### 5 - 1 - 4 ナムスワン養殖センター建設予定地

建設予定地では、郡灌漑担当局が管理している灌漑水を養殖に利用することになるため、プロジェクト開始前に少なくとも低料金で利用できるように郡担当局から許可をもらうように要請していた。今回の調査において、取水問題を含め、建設予定地における郡担当局や周辺住民との調整につき確認したところ、灌漑水の利用（無料）、敷地内の電線や小水路の撤去、ヴィエトナム人が利用している養殖池のプロジェクトでの利用等の問題につき、既に調整済みとのことであった。

また、プロジェクトの実施に当たっては通信手段の確保が重要であるが、電話線はナムスワンまで整備されておらず、未整備距離も20kmとのことである。当面は無線機と携帯電話での対応を検討することとなる。ただし、携帯電話も送受信できない地域である可能性も高く、ヴィエンチャン県農業農村開発計画（プロジェクトサイト：農業農村開発センター（トラコム郡パクチェン村））等での例を参考に効率的な通信手段を確保することが必要である。

さらに、ダムからの重力利用による取水や稲収穫時期の灌漑水の供給停止等の対応は引き続き検討すべき事項である。

## 5 - 2 実施計画

### 5 - 2 - 1 活動内容

本プロジェクトは3年間でナムスワン養殖センターの建設と試験操業、カウンターパートの人材育成、普及員研修、普及計画の策定、フィールド調査等を行うこととなっている。

まずは、ナムスワン養殖センターの操業が重要であるが、本プロジェクト終了後に、全国の普及員への研修や策定された普及計画の実行等本格的な技術改善・普及活動が展開されていくこととなる。

その意味では、詳細計画の策定に当たっては、まず、ラオスの養殖の現状を把握し、農民等へ普及可能な実用的養殖技術を確立すること、また、確立された技術の全国的な普及体制が整備される必要があることを念頭におきつつ、本プロジェクトの3年間で期待される到達点を明確にしておくことが必要である。

さらに、将来的なラオス国内への養殖技術の普及方策及びそのモニタリング方法、ナムスワン養殖センターとその他養殖関係機関とのネットワークづくり等今後の技術協力の方向性も視野に入れた基礎づくりが大切である。

### 5 - 2 - 2 対象魚種

一般的にラオス国民は在来種を始め多くの魚種を食料としている。日本側からは本プロジェクトの対象魚種として4種を提案したことに対し、ラオス側はその他魚種も活動範囲に入れるよう要望した。

しかしながら、3年間では4種でも派遣する専門家にとってはかなりの負担がかかることやこれらの4種はそれぞれ養殖技術の異なる種であり、その他の魚種についてはこれらの技術を応用できるものも多いと考えられることを踏まえ、プロジェクト活動にその他魚種を追加することはできない旨を説明した。

ただし、その他の魚種については専門家が可能な範囲での助言等を行うことはできると思われる。

### 5 - 2 - 3 関係機関との連携

FAOではラオス国内5県をサイトとして、淡水養殖のプロジェクトを実施しており、2000年度当該プロジェクトが終了するため、現在、後続のプロジェクトを検討しているところである。

FAOプロジェクトでは、貧困地域のモデル村を中心に農民組織への淡水養殖技術の普及活動を行っており、そこから得られた情報はナムスワン養殖センターでのプロジェクトにとっても極めて有益なものと思料される。

また、養殖技術に関する知識をもった普及員は不足しており、ナムスワン養殖センターにお

いて国レベルで政府職員、普及員等に対し養殖技術指導活動を行うことは、FAO プロジェクトにとっても効果的である。

FAO の次期プロジェクトの内容が明らかになった時点で、両プロジェクトの具体的な連携方策を検討し、現地での効果的な補完関係を築くことが期待される。

また、LARReC やメコン河委員会（MRC）もそれぞれ在来魚種を中心とした活動を行っており、必要に応じ情報交換等の連携を行うことが有益である。

## 付 属 資 料

資料 1 討議議事録 (R/D)

資料 2 暫定実施計画 (TSI)

資料 3 C/Pリスト

資料 4 要請書フロー図



**RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM  
AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC  
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE AQUACULTURE IMPROVEMENT AND EXTENSION PROJECT**

The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency and headed by Mr. Hiroshi Enomoto, visited the Lao People's Democratic Republic from 16th July, 2000 to 23rd July, 2000 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Aquaculture Improvement and Extension Project in the Lao People's Democratic Republic.

During its stay in the Lao People's Democratic Republic, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Lao authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Lao authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Vientiane, 21st July, 2000

榎 本 宏

-----  
Mr. Hiroshi Enomoto  
Leader  
Japanese Implementation Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



-----  
Mr. Singkham Phonvisay  
Director General,  
Department of Livestock and Fisheries  
Ministry of Agriculture and Forestry  
Lao People's Democratic Republic

## ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Lao People's Democratic Republic will implement the Aquaculture Improvement and Extension Project (hereinafter referred to as "the Project" ) in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

### II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") according to the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS  
The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II.
2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT  
The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment" ) necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The Equipment will become the property of the Government of the Lao People's Democratic Republic upon being delivered C.I.F. ( cost, insurance and freight ) to the Lao authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.
3. TRAINING OF LAO PERSONNEL IN JAPAN  
The Government of Japan will receive the Lao personnel connected with the Project for technical training in Japan.

(8)

4. SPECIAL MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

To ensure the smooth implementation of the Project, the Government of Japan will take, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, special measures through JICA with the purpose of supplementing a portion of the local cost expenditures necessary for the execution of the physical infrastructure.

⑤

✓

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC

1. The Government of the Lao People's Democratic Republic will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of the Lao People's Democratic Republic will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Lao nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Lao People's Democratic Republic.
3. The Government of the Lao People's Democratic Republic will grant in the Lao People's Democratic Republic privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families, which are no less favorable than those accorded to experts of third countries working in the Lao People's Democratic Republic under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
4. The Government of the Lao People's Democratic Republic will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.
5. The Government of the Lao People's Democratic Republic will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Lao personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Lao People's Democratic Republic, the Government of the Lao People's Democratic Republic will take necessary measures to provide at its own expense :
  - (1) Services of the Lao counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV;

(B)



- (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
  - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above;
  - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Lao People's Democratic Republic; and
  - (5) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Lao People's Democratic Republic, the Government of the Lao People's Democratic Republic will take necessary measures to meet:
- (1) Expenses necessary for transportation within the Lao People's Democratic Republic of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
  - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Lao People's Democratic Republic on the Equipment referred to in II-2 above; and
  - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director General of the Department of Livestock and Fisheries, as the Head of Executing Agency, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Former Deputy Chief of the Livestock and Fisheries Division, as the Project Director, will be responsible for the managerial and technical matters of

(A)



the Project.

3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Head of Executing Agency and the Project Director on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Lao counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VI.

#### V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Lao authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

#### VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Lao People's Democratic Republic undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Lao People's Democratic Republic except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with, this Attached Document.

(L)

H

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Lao People's Democratic Republic, the Government of the Lao People's Democratic Republic will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Lao People's Democratic Republic.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three ( 3 ) years from 19th February ,2001.

(8)



## ANNEX I . MASTER PLAN

### 1. Overall Goal

To enhance activities for technology improvement and extension in the field of aquaculture in the Lao People's Democratic Republic.

### 2. Project Purpose

To establish the Namxuoang Aquaculture Center and to develop the capability of counterparts for technology improvement and extension activities in the field of aquaculture throughout the country.

### 3. Outputs of the Project

- 1) The Namxuoang Aquaculture Center will be established.
- 2) Aquaculture technology and extension capability of counterparts will be improved.
- 3) Seed production and aquaculture techniques related to the target species (tilapia, common carp, puntius, catfish) will be improved.
- 4) Knowledge and techniques on aquaculture of provincial and district extension officers will be improved.
- 5) A database on the aquaculture situation will be established and an aquaculture extension plan will be formulated using the database.
- 6) The network between the Namxuoang Aquaculture Center and other aquaculture research, development and extension organizations will be strengthened.

### 4. Activities of the Project

- 1) To set up and test-operate facilities at the Namxuoang Aquaculture Center.
- 2) To improve the capabilities of counterparts through on-the-job training at the Nongteng Fish Farm (until the test-operation of the Namxuoang Aquaculture Center has been completed) and the Namxuoang Aquaculture Center as well as training in Japan and other countries in the region.





- 3) To conduct experiments to improve seed production and aquaculture techniques related to the target species at the Nongteng Fish Farm and the Namxuoang Aquaculture Center.
- 4) To organize training courses for provincial and district extension officers.
- 5) To collect information on the present situation of aquaculture and to formulate the future aquaculture extension plan.
- 6) To exchange views and information through field trips and seminars with other development projects, institutions and extension organizations related to aquaculture and fisheries.

5. In case in which the Master Plan should be changed due to the situation of the Project, both Governments will agree to and confirm the changes by exchanging Minutes of Meeting.

## **ANNEX II. LIST OF JAPANESE EXPERTS**

### 1. Long-term experts

- (1) Chief Advisor and extension planning
- (2) Project Coordinator
- (3) Freshwater aquaculture
- (4) Seed production

Note: One expert may serve in more than one field.

### 2. Short-term experts

Expert(s) will be dispatched when the necessity arises in the course of implementation of the Project.

## **ANNEX III. LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT**

1. Research / laboratory equipment, machinery, and materials necessary for the activities mentioned in Annex I - 4.
2. Other equipment, machinery, materials and spare parts to be mutually agreed

(6)



upon.

#### **ANNEX IV. LIST OF LAO COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL**

1. Head of Executing Agency

Director General, Department of Livestock and Fisheries, Ministry of Agriculture and Forestry

2. Project Director

Former Deputy Chief of the Livestock and Fisheries Division

3. Counterpart personnel

Suitably qualified personnel, on a full time basis, assigned to each Japanese expert as specified in ANNEX II

4. Other necessary supporting staff

- 1) Administrative staff
- 2) Accounting staff
- 3) Drivers
- 4) Security guards
- 5) Other supporting personnel

#### **ANNEX V. LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES**

1. Land for Project office and related facilities at the Namxuoang Aquaculture Center

2. Buildings and facilities:

- (1) Offices and other necessary facilities for the Japanese experts with sufficient space.
- (2) Services such as power supply, water supply, sewage system, telephone, etc., as necessary for the activities under the Project.
- (3) Other facilities mutually agreed upon as necessary.

#### **ANNEX VI. JOINT COORDINATING COMMITTEE**

1. Functions

The Joint Coordinating Committee at the policy level will meet at least once a year and whenever necessity arises to:

- (1) formulate the annual work plan for the Project;



- (2) review the annual activities of the Project;
- (3) review and exchange views on major issues arising from, or in connection with, the technical cooperation;
- (4) examine the local budget-draft necessary for the Project; and
- (5) others.

## 2. Composition

The Joint Coordinating Committee will be set up consisting of:

( 1 ) Chairperson: Head of Executing agency, Director General of the Department of Livestock and Fisheries, Ministry of Agriculture and Forestry

( 2 ) Members:

Lao side

Head of Executing Agency: Director General, Department of Livestock and Fisheries, Ministry of Agriculture and Forestry

Project Director: Former Deputy Chief of the Livestock and Fisheries Division

Representative of the Ministry of Agriculture and Forestry: Chief of Investment and Cooperation Division

Representative of the Office of International Cooperation, Committee for Investment and Cooperation, Prime Minister's Office

Director of the Namxuoang Aquaculture Center

Other personnel concerned with the Project

Japanese side

Chief Advisor

Project Coordinator

Experts assigned to the Project

Resident Representative of the JICA Laos Office

Other personnel dispatched by JICA, if necessary

NOTE:

- 1 ) Official(s) of the Embassy of Japan in the Lao People's Democratic Republic may attend the Joint Coordinating Committee as observer(s).

- 2) Person who are nominated by the Chairperson may attend the Joint Coordinating Committee when required.

(h)



TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION  
OF  
THE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE AQUACULTURE IMPROVEMENT AND EXTENSION PROJECT

The Japanese Implementation Study Team and the Lao People's Democratic Republic authorities concerned have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Aquaculture Improvement and Extension Project (hereinafter referred to as "the Project") as annexed hereto.

This has been formulated in connection with the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Japanese Implementation Study Team and the Lao People's Democratic Republic authorities concerned for the Project on the condition that the necessary budget will be allocated for the implementation of the Project by both sides, and that the schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions whenever necessity arises in the course of Project implementation.

Vientiane , 21st July, 2000

榎本 宏

-----  
Mr. Hiroshi Enomoto  
Leader  
Japanese Implementation Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



-----  
Mr. Singkham Phonvisay  
Director General,  
Department of Livestock and Fisheries  
Ministry of Agriculture and Forestry  
Lao People's Democratic Republic



## TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

Item / Year	1st	2nd	3rd
<b>1 Construction and test operation of facilities at the Namxuoang Aquaculture Center</b> · Detail design, tender and construction · Advice on the construction by expert(s) on seed production and aquaculture · Test-operation and adjustment of the facilities			
<b>2 Improvement of the capabilities of Lao counterparts through on-the-job training at the Nongteng Fish Farm (until the test-operation of the Namxuoang Aquaculture Center has been completed) and the Namxuoang Aquaculture Center as well as training in Japan and other countries in the region</b>			
<b>3 Experiments to improve seed production and aquaculture techniques related to the target species (tilapia, common carp, puntius, catfish) at the Nongteng Fish Farm and the Namxuoang Aquaculture Center</b> · Experiments at the Nongteng Fish Farm · Experiments at the Namxuoang Aquaculture Center			
<b>4 Organization of training courses for provincial and district extension officers</b>			
<b>5 Information collection on the present situation of aquaculture and formulation of the future aquaculture extension plan</b> · Baseline study · Database establishment · Formulation of the extension plan			
<b>6 Exchange of views and information through field trips and seminars with other development projects, institutions and extension organizations related to aquaculture and fisheries</b>			

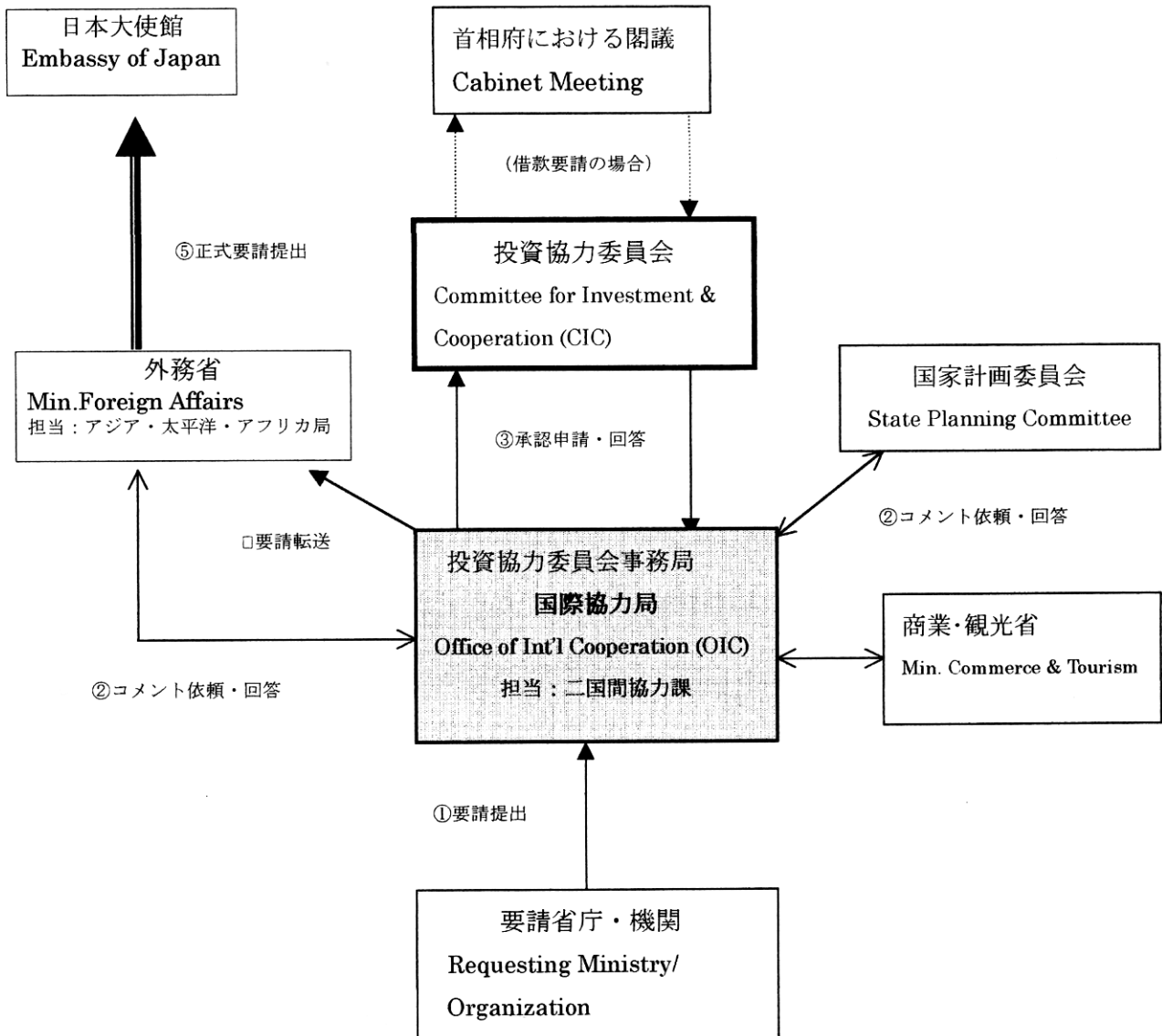
資料3 C/Pリスト

C/P候補者リスト

No	名前	専攻	学歴	修得地	職位	職場
1	Mr.Chanthaboun Sirimanouthom	Animal Husbandry	Msc	Hungary	NPD	Livestock and Fishery Development Division
2	Mrs.Nuhak Lievisay	Fisheries	Dipl oma	Lao	TCP/Lao/882 3(A)	Livestock and Fishery Development Division
3	Miss.Dongdavanh Sibounthong	Fisheries	Bsc	Lao	Technician	Livestock and Fishery Development Division
4	Mr.Bounhong	Fisheries	Cert ificat e	Lao	Technician	Livestock and Fishery Development Division
5	Mr.Hunh Vilaychit	Fisheries	Dipl oma	Lao		Livestock and Fishery Development Division
6	Mr.Seng Keo	Fisheries	Msc	Russia	Technician	Livestock and Fishery Development Division
7	Mr.Oun Kham	Animal Husbandry	Dipl oma	Lao	Chief of Fish Farm	Nongteng Fish Farm
8	Mr.Vilaykhoun	Fisheries	Cert ificat e	Lao	Technician	Nongteng Fish Farm
9	Mr.Khamla	Fisheries	Cert ificat e	Lao	Technician	Nongteng Fish Farm
10	Mr.Phonthong	Fisheries	Dipl oma	Lao	Technician	Nongteng Fish Farm

対日要請案件処理の流れ

2000/03/09 確認



(注) プロ技の場合は通常事前までに正式要請（専門家派遣等協力コンポーネントの言及あり）が提出されており、実施協議において協力枠組みを双方で確定しているため、その後の専門家および機材供与の個別の要請については、担当省庁から提出後、R/Dとの整合性をCIC国際協力局で確認し、問題が無ければ直接外務省に転送する。